

2007年度ジュニアリーグ

優勝 Dチーム 11勝 3敗1分

監督 長尾 善弘 主将 木村 豊行

片桐	広景	野内	直己	大畠	敏祐
小柴	幸夫	灌	敏夫	須藤	聰之
渡辺	憲司	金丸	和彦	高崎	宗明
中村	康夫	戸村	真二		

◎公式戦記録第33期勝敗表

●ジュニアリーグ 第15戦まで (全日程終了) *引分試合は、0.5勝、0.5敗で勝率計算

順	チーム	D	C	A	B	勝	負	分	勝率	得点	失点	打率	防御率
1	D	***	○○△●○	○●○○○	●○○○○	11	3	1	0.767	95	55	.293	2.06
2	C	●●△○●	***	○○○○○	○●○○○	10	4	1	0.700	115	50	.293	2.53
3	A	●○●●●	●●●●●	***	△○○○○	5	9	1	0.367	88	125	.247	5.70
4	B	○●●●●	●○●●●	△●●●●	***	2	12	1	0.167	69	137	.222	8.09

【優勝監督コメント】

シーズン終了後、来期は三冠王と秘かに期するものがあった私を、推薦理由無しという奇妙な理由で監督にしようとする不届き者が現れた。監督になると打率は二割下がると聞いていたので選ばれたらヤバイと思ったが、まあセルフィッシュ人間筆頭とレッテルを貼られている私が選ばれることはまずないと高を括っていた。が、昨今のお笑いブームの影響もあるのかギャグ的意味合いで選ばれてしまった。コメッツ野球にとって勝利は二義的なものだと謳っているし、まあ適当にやろうと気を取り直して再度三冠王を目指すことにするが、チーム編成でメンバーが決まるとまたもや困ったことになる。どう見ても最強軍団なのだ。いいかげん人間ともいわれる私は今度は優勝それも15連勝を目指すことにする。しかし3戦目で敗戦。夢も希望も無くなつたが、このチームのメンバーは人間的にも素晴らしいかった。私を励まし、おだてて下さった。よって優勝。一生忘れられない平成19年JDチームでした。

皆さん！やってない人は是非一度監督を！

投手部門タイトル

☆ 最多勝利投手	野内 直己 (D)	11勝2敗
☆ 最優秀防御率	野内 直己 (D)	1.05
☆ 勝率1位	野内 直己 (D)	11勝2敗 .846
☆ 最多奪三振	野内 直己 (D)	54個
☆ 最多完封試合	野内 直己 (D)	柳沢 誠 (C) 1試合
☆ 最多無四球試合	野内 直己 (D)	1試合

2007 年度投手成績表

順位	背番	氏名	防御率	登板数	投球回	打者数	被安打	被本塁	奪三振	四死球	失点	自責点	完投数	無四球	完封数	勝利	敗戦
1	11	野内 直己	1.05	14	81	339	65	0	54	26	31	12	7	1	1	11	2
2	40	柳沢 誠	2.19	6	32	141	18	0	14	27	13	10	4	0	1	5	1
3	83	伊藤 進	2.29	9	49	215	41	0	14	19	20	16	5	0	0	5	2
4	14	関 敬一	4.53	13	51	271	70	2	11	37	62	33	3	0	0	4	5
5	75	手嶋 信夫	5.95	9	48 2/3	272	64	0	17	59	59	41	5	0	0	2	6

規定投球回未満

順位	背番	氏名	防御率	登板数	投球回	打者数	被安打	被本塁	奪三振	四死球	失点	自責点	完投数	無四球	完封数	勝利	敗戦
	50	佐藤 智徳	0.00	1	1 2/3	10	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0
	88	久保田 豊男	0.00	4	9	34	2	0	7	6	2	0	0	0	0	0	0
	68	柿崎 幸人	0.00	1	1	5	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0
	41	金田 不二雄	0.00	1	3	14	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0
	28	島本 保弘	2.68	2	8	35	7	0	1	4	4	3	0	0	0	0	1
	53	金丸 和彦	5.28	3	6	34	4	0	2	13	8	4	0	0	0	0	0
	90	数見 貞男	5.76	7	9 2/3	59	20	0	8	4	17	7	0	0	0	1	2
	99	須藤 聰之	7.00	3	2	14	3	0	1	5	4	2	0	0	0	0	0
	36	高橋 敬三	8.51	8	18 1/3	105	31	0	8	15	36	22	0	0	0	0	1
	73	野坂 英昭	10.90	4	12 2/3	78	21	0	4	20	26	19	1	0	0	0	2
	91	中村 勝浩	11.05	7	20	130	33	1	9	37	41	34	1	0	0	0	2
	30	小柴 幸夫	13.21	5	6	35	6	0	1	10	12	10	0	0	0	0	1
	33	梅原 義信	14.00	2	4	34	8	0	0	13	15	8	0	0	0	0	1
	43	鍋倉 敏		1	1	14	3	0	1	8	9	8	0	0	0	0	1
	98	安見 信二			1	1/3	9	2	0	0	6	7	7	0	0	0	1

捕手部門タイトル

- ☆ 最多阻止数 長尾 善弘 (D) 8 個
 ☆ 最高阻止率 金丸 和彦 (D) . 1 6 7

打撃部門タイトル

- ☆ 首位打者 千葉 克徳 (A) 0. 4 0 0
 2 位 中村 康夫 (C) 0. 3 8 9
 3 位 前崎 義博 (C) 0. 3 8 5
 4 位 野内 直己 (D) 0. 3 7 1
 5 位 久保田 豊男 (C) 0. 3 6 4
 ☆ 本塁打王 千葉 克徳 (A) 中村 勝浩 (B) 各 1 本
 鈴木 秀昭 (C)
 ☆ 打点王 鈴木 秀昭 (C) 1 6 点
 ☆ 得点王 野内 直己 (D) 木村 晃 (C) 各 1 7 点
 ☆ 最高出塁率 久保田 豊男 (C) 0. 5 3 1
 ☆ 盗塁王 古川 勝支 (B) 2 2 個
 ☆ 四死球王 木村 晃 (C) 柳沢 誠 (C)
 金田 不二雄 (A) 各 1 2 個
 ☆ 新人王 前崎 義博 (C)

2007年度打擊成績表

順位	背番	氏名	試合数	打率	打席	打數	得点	安打	二塁打	三塁打	本塁打	打点	四死球	盗塁	三振	犠打飛	妨害	塁打	長打率	出塁率
1	0	千葉 克徳	15	0.400	40	35	12	14	2	0	1	7	4	12	5	1	0	19	0.543	0.450
2	55	中村 康夫	15	0.389	40	36	9	14	4	0	0	11	4	4	0	0	0	18	0.500	0.450
3	12	前崎 義博	14	0.385	43	39	11	15	3	0	0	8	3	13	2	1	0	18	0.462	0.419
4	11	野内 直己	15	0.371	44	35	17	13	5	0	0	9	8	16	0	1	0	18	0.514	0.477
5	88	久保田 豊男	9	0.364	32	22	8	8	2	0	0	9	9	10	2	1	0	10	0.455	0.531
6	94	鈴木 秀昭	14	0.361	43	36	10	13	6	1	1	16	7	4	6	0	0	24	0.667	0.465
7	23	田村 陽平	13	0.346	35	26	13	9	2	2	0	5	9	16	3	0	0	15	0.577	0.514
8	38	渡辺 寿司	11	0.346	35	26	6	9	2	1	0	7	9	13	3	0	0	13	0.500	0.514
9	58	古川 勝支	15	0.345	44	29	12	10	1	0	0	4	10	22	5	5	0	11	0.379	0.455
10	64	釣部 義之	15	0.341	51	41	12	14	5	1	0	15	8	13	4	2	0	21	0.512	0.431
11	40	柳沢 誠	14	0.333	45	33	16	11	3	1	0	7	12	10	3	0	0	16	0.485	0.511
11	4	片桐 広景	14	0.333	45	36	9	12	2	0	0	8	8	11	2	1	0	14	0.389	0.444
13	83	伊藤 進	13	0.324	41	34	5	11	2	0	0	5	7	4	2	0	0	13	0.382	0.439
14	30	小柴 幸夫	15	0.303	40	33	6	10	5	0	0	9	5	7	1	2	0	15	0.455	0.375
15	36	高橋 敬三	13	0.296	33	27	4	8	0	0	0	6	6	5	3	0	0	8	0.296	0.424
16	29	星野 一美	14	0.290	42	31	8	9	1	0	0	8	11	9	2	0	0	10	0.323	0.476
17	15	木村 晃	15	0.283	58	46	17	13	0	1	0	5	12	21	5	0	0	15	0.326	0.431
18	98	安見 信二	14	0.281	40	32	6	9	3	1	0	8	7	14	3	1	0	14	0.438	0.400
19	2	杉田 昭一	13	0.280	28	25	4	7	1	0	0	3	3	3	3	0	0	8	0.320	0.357
20	10	本多 良行	15	0.276	39	29	5	8	4	0	0	4	7	5	1	3	0	12	0.414	0.385
21	26	近藤 福仁	15	0.267	35	30	7	8	0	1	0	6	5	11	3	0	0	10	0.333	0.371
21	41	金田 不二雄	15	0.267	43	30	9	8	2	0	0	10	12	16	3	1	0	10	0.333	0.465
23	19	長尾 善弘	15	0.262	47	42	12	11	3	0	0	6	4	14	3	1	0	14	0.333	0.319
24	90	数見 貞男	15	0.259	35	27	8	7	1	0	0	6	7	8	4	1	0	8	0.296	0.400
24	61	川島 大	10	0.259	32	27	9	7	2	0	0	5	4	9	0	1	0	9	0.333	0.344
26	67	本間 健二	14	0.258	36	31	9	8	1	0	0	0	5	8	5	0	0	9	0.290	0.361
27	9	増田 譲	14	0.250	32	24	6	6	0	0	0	4	7	6	2	1	0	6	0.250	0.406
27	73	野坂 英昭	14	0.250	38	28	3	7	2	0	0	7	7	8	2	3	0	9	0.321	0.368
29	53	金丸 和彦	15	0.243	42	37	10	9	1	1	0	3	4	7	6	1	0	12	0.324	0.310
30	77	大畠 敏祐	15	0.235	41	34	5	8	2	0	0	6	6	4	0	1	0	10	0.294	0.341
31	32	瀧 敏夫	15	0.233	38	30	3	7	0	0	0	5	8	1	1	0	0	7	0.233	0.395
32	50	佐藤 智徳	14	0.229	38	35	8	8	2	1	0	10	3	12	6	0	0	12	0.343	0.289
33	16	正木 茂	15	0.216	48	37	9	8	3	0	0	9	11	9	4	0	0	11	0.297	0.396
34	14	関 敬一	15	0.214	39	28	7	6	2	0	0	3	11	6	4	0	0	8	0.286	0.436
35	75	手嶋 信夫	12	0.207	32	29	4	6	1	0	0	4	3	5	1	0	0	7	0.241	0.281
36	43	鍋倉 敏	14	0.172	36	29	6	5	1	0	0	10	6	5	2	1	0	6	0.207	0.306
37	28	島本 保弘	14	0.156	36	32	3	5	1	0	0	2	4	6	3	0	0	6	0.188	0.250
38	91	中村 勝浩	12	0.143	30	28	1	4	0	0	1	7	0	1	2	2	0	7	0.250	0.133
39	33	梅原 義信	13	0.133	38	30	8	4	1	0	0	5	8	6	5	0	0	5	0.167	0.316
40	72	弦間 好文	15	0.125	36	32	4	4	2	0	0	1	4	2	6	0	0	6	0.188	0.222
41	69	栗原 恒男	15	0.121	37	33	4	4	1	1	0	8	4	2	8	0	0	7	0.212	0.216
42	17	増田 香	15	0.083	32	24	4	2	0	0	0	1	8	0	8	0	0	2	0.083	0.313

規定打席数未満

順位	背番	氏名	試合数	打率	打席	打数	得点	安打	二塁打	三塁打	本塁打	打点	四死球	盗塁	三振	犠打飛	妨害	墨打	長打率	出塁率
	68	柿崎 幸人	2	0.333	4	3	2	1	0	0	0	0	1	3	0	0	0	1	0.333	0.500
	63	戸村 真二	11	0.292	28	24	6	7	2	0	0	2	4	5	1	0	0	9	0.375	0.393
	99	須藤 聰之	9	0.273	23	22	2	6	3	0	0	4	1	1	6	0	0	9	0.409	0.304
	66	高崎 宗明	11	0.263	27	19	4	5	0	0	0	4	8	1	2	0	0	5	0.263	0.481
	20	木村 豊行	9	0.200	22	15	5	3	0	0	0	0	7	5	3	0	0	3	0.200	0.455
	8	小澤 浩	9	0.182	26	22	2	4	0	0	0	2	3	2	3	1	0	4	0.182	0.269
	13	向日 晴彦	9	0.105	24	19	4	2	0	0	0	4	4	3	3	1	0	2	0.105	0.250
	84	水上 芳範	2	0.000	6	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0.000	0.167

2007年を振り返って

【事務局長 河下 浩信】

本年は天候に恵まれ、無事全日程を終えることができました。

会長はじめ、運営委員、監督、専門委員の皆様のご協力に感謝します。

期中、日高さんが亡くなり、つらい思いをしました。

心からご冥福をお祈りします。

また、長年お世話になってきた、小豆沢グランドが本年をもって閉鎖されることとなり、しばらくは、来年以降のグランドの手当てに苦悩しました。

その際は、広く会員の皆様に情報提供等のご協力をお願いしたり、吉田会長はじめ人脈のある方には実際に交渉してもらったりしましたが、一日4試合、年間10日以上、しかも年間ベースで確保するということは極めて難しいことを実感しました。

幸いにして、東京軟式還暦野球連盟の曾我部理事長他のご好意により、何とか来年のグランドは確保できました。感謝です。

野球は、グランドと仲間がいて初めてできるものです。一緒に野球をやれる仲間も大切にしましょう。

来年は、還暦野球のグランドサイズでプレーするAリーグと従来のグランドサイズでプレーするBリーグのいずれかを会員の自由意志で選べることとしました。Bリーグの方が希望者が少なく若干無理はありますが、助っ人制で乗り切ることとし、2リーグ、8チーム制を継続します。

監督はじめ現場でチームの運営に当たる方のご苦労は大変だと思いますがよろしくお願ひします。

一方、コメッツの還暦野球チームの方も、小林監督、木川主将、(Kリーグ)町田監督、石川主将(Pリーグ)のもと、頑張りました。

Kリーグでは、7部から6部にカムバックできそうです。

また、コメッツとして、長野県上田市で行われた全日本生涯野球大会にも参加しました。

何はともあれ、元気で(あそこが痛い、ここが痛いとは言っているが)野球ができるのは「しあわせ」ですね。

私事ですが、3年間(広報1年、事務局長2年)コメッツの運営に携わりましたが、木川さんにバトンタッチしてしばらくお休みを頂きます。

なにかとご協力いただき、ありがとうございました。

また来年グランドでお会いしましょう。